

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392000010
事業所名	元町グループホーム

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 町内会に加入し、回覧板で情報を得ている。少しずつ地域行事も再開され、状況を確認しながら入居者や職員の参加により交流を継続している。長年続いている小学5年生との交流では、作品やの交換はもとよりほのぼのとしたコメントの交換などを継続し、秋には交流会も予定している。日々の散歩や地域商店での買い物などをしながら地域との関りや風情を楽しめるようにしたり、地域の多世代カフェに参加する機会もある。例年参加している「RAN伴」は、ゴール地点での参加なども視野に検討をしている。「バスの来ないバス停」で椅子に腰かけ、のんびりと昔を懐かしみ風情を楽しむ場となっている。また、地域と「つながり続ける事」を目的とし、「孤立しない社会の創造」を目指し「生きることに」価値を見出すために伴走型支援にも取り組んでいる。	評価	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 状況を確認しながら対面や書面開催など柔軟な対応をしている。家族、自治会長、民生委員、地域住民、地域包括支援センター職員には議事録を郵送している。年6回開催の内、1回は家族会と合同で開催しているが、現在は踏み止まっている。事業所の運営状況や活動報告、今後の予定、入居者状況などの情報提供やお役立ち情報などの提供をしている。頂いた意見や情報はサービスの向上や運営に活かしている。	評価	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 介護保険更新の手続きや申請書類、運営推進会議録などは郵送し、市の担当者とは電話やメールで情報交換をしたり入所事例などで指導や助言を得るなど良好な協力関係を築いている。認知症啓発イベントの「RAN伴」に職員が初回開催から実行委員として積極的に参加している。地域包括主催「行方不明者捜索訓練」の実施に積極的に協力し、継続的な関係性を築いている。また、地域の多世代カフェ「元町カフェ」に地域包括支援センターと協力し運営に貢献をしている。認知症キャラバンメイト育成事業の講師として出向いたり、作成した資料の貸し出しも行っている。市役所で開催される「豊橋市共同作品展」へ入居者の作品を出展している。	評価	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 入居者からは日々の関わりの中から思いを開き、意見や要望を記録し、職員間で共有し運営に反映させている。家族にはHitomeQ(ひとめく)の機能を利用して、介護記録を毎日配信し、質問や相談がある場合は、随時対応し、家族から高い評価を得ている。また、事業所独自の家族に対するアンケートを実施しサービスに反映したり、面会時や電話、メールなどを利用して意見や要望を開き、ケアや業務の改善に役立っている。「元町グループホーム笑顔だより」を発行し、家族に安心を届けている。また、いつでも訪問しやすい環境や雰囲気づくりをしている。	評価	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価	
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	評価	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	評価	○
○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。		評価	○
総合評価		評価	◎

【備考欄】

運営推進会議は、対面や書面開催など柔軟な対応をしている。根付いてきた「多世代カフェ」は場所を移して再開し、「RAN伴」はゴール地点での参加なども視野に検討をしている。家族会との合同の運営推進会議は、状況を見ながら再開をしていく心積もりとしている。HitomeQ(ひとめく)の機能を利用しての介護記録の毎日配信は定着をし、家族から高い評価を得ている。他グループホームと考案した「バスの来ないバス停」の設置は、椅子に腰かけ、のんびりと昔を懐かしみ風情を楽しむ場はもとより、帰宅願望や不穏などの気持ちを和らげる場ともなり、他のグループホームへの広がりも見え始めている。管理者は、3年続いたコロナ禍の課題を整理しつつ、職員の意識改革やサービスの質の向上に寄与していく心積もりを保有している。

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	◎	○	◎							